美味しい・楽しいイベント

しぼりたての味を堪能。海と山の幸に舌鼓 新酒まつり

三月七日から八日にかけて、 道の駅「酒蔵奥出雲交流館」では、 地元で契約栽培された酒米「改 良八反流」と「五百万石」を使 良八反流」と「五百万石」を使 とがり、新酒まつりが開催され ました。 新酒の試飲コーナーや酒蔵見学、 イノシシ汁の無料サービス、も ちつきなどのたくさんのイベントがあり、二日間で、県内外か トがあり、二日間で、県内外かトがあり、二日間で、県内外かました。 また、三月二十二日には、簸 また、三月二十二日には、簸 また、三月二十二日には、簸 また、三月二十二日には、簸 また、三月二十二日には、簸 また、三月二十二日には、簸 また、三月二十二日には、簸



「蔵奥出雲交流での新酒まつりの様子

恒例のカキまつり

場に開催された日、よこも思える恒例の

は、大粒で新鮮なカキを来場者は、大粒で新鮮なカキを中でに活動を打っていました。 は、大粒で新鮮なカキをでいる横田地区川西自治会の皆さんによる手打ちそばやエリンギでかられ、県内外から訪れた多くけられ、県内外から訪れた多くが、海と山の幸を楽しみました。



ました。だんだん市場を会場にカキまつりが三月ハワカキまで十二回を迎え

れたの



平成20年度のコミュニティ施設整備事業として建設が進められていた大馬木第二本郷、奥湯 谷下の自治会館が竣工しました。

総事業費は2施設で約2千3百万円。事業費の70%を国が負担する有利な起債を活用して建 設されました。今後地域の憩いの場やコミュニティ施設として、様々な活動に利用されます。



大馬木第二本郷自治会館



奥湯谷下自治会館



パネルシアターの様子

彩な出し物が披露されました。ッタ「かさこじぞう」など多校二年生の児童によるオペレやパネルシアター、三成小学

約二百人が訪

によるエ.

読み聞かせ

- プニングは、千原さつ白人が訪れました。、お母さんなど親子連れ、場には、子育て中のお父

千原さつ

会場には、

による人形劇「三まいのおふだ」では、舞台かられていました。自分も子ども変に感動しました。自分も子ども達動しました。自分も子ども達動しました。自分も子ども連があり、改めて絵本の世界のがあり、改めて絵本の世界のがあり、改めて絵本の世界のがあり、改めて絵本の世界のがあり、改めて絵本の世界のがあり、改めて絵本の世界のがあり、改めて絵本の世界のがあり、改めて絵本の世界のがあり、改めて絵本の世界のがあり、改めて絵本の世界のがあり、改めて絵本の世界のがあり、改めて絵本の世界のがあり、改めて絵本の世界のでは、大切さを感じていました。

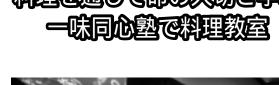
ャープラザ仁多で開催されまィバル」が三月八日、カルチ「きらめきときめきフェステ「きらめきといいまし会、ボランティアによるお話し会、伝えようと、町内の読み語り会・子供たちに絵本の楽しさを

子どもたちに絵本の楽しさを伝えよう

きらめき ときめきフェスティバル

知に取り組んでいました。 対は、、東出雲和牛など、 が料理体験をしました。 か学校の五・六年生十六人が料理体験をしました。 か四で採れた有機栽培米の「稲か田で採れた有機栽培米の「稲が上の食材を使った牛肉と を道具の使い方や調理方法 の道真の使い方や調理方法 が関重たちは、中村館長か の道真の使い方や調理方法 が判理体験を受けながら真

児童からは「奥出雲町に も貴重な食材がたくさんあ ることがわかった」など感 想があり、出来上がったも 食べ物は体だけでなく心も 養うことを教わっていました。 中村館長は「日本の食文 化は、日本人の生命の基本。 これからも子ども達に本物 の食を伝えていきたい」と 記されました。 「児童たちは、料理を通じ てふるさとの良さ、生きる ことは自然から命をもらっ





真剣に取り組む小学生